

はじめに

父は中学校の先生で、母はある企業の中の食堂を経営していた、そんな2人の長女として誕生したのが私です。

約9年間は兄弟もおらず一人っ子として育てられ、両親が共働きだったので自宅の隣に住んでいた祖父母がよく面倒を見てくれたのを記憶しています。

そんな私は、やがて結婚をして3人の子どもの母へと成長していきました。

3人の子育て期間を今になって振り返ったときに、私の人生の黄金時代だったと感じています。悲しみや苦しみや不安、そして、とてつもない喜びと楽しさ。すべての感情が入り乱れ、まさに生きているんだと実感できる日々だったと、懐かしく愛おしく振り返ることができます。

いろいろなことがあるのが人生です。

予期せぬことが起こったり、自分の想像をはるかに超えることが起こったりと、本当に十

人十色だと思います。そのようなかで人は成長をしていきます。

子どもはもちろんですが、親である私たちも成長していかないといけません。

子育てはある意味、自分が成長するチャンスでもあるのです。

たくさんの子供を子どもたちは教えてくれます。

素直な心や美しい笑顔、信じる強さや大人が忘れかけている大切なことを教えてくれます。

そして、世の中の理不尽なことを経験しながらも一生懸命に生きていきます。

その姿に私は勇気をもらいながら、ともにそのときを過ごしてきたのだと思います。

そして最高に楽しみました。

たくさん笑ってたくさん泣きました。

そのすべてが私の生きてきた証なのだと感じています。

私の子育ては、ちょっと独特だと言われることもあります。

そのとおりで、世にいう普通とは違う、特別を目指して子育てをしてきました。

なぜならば、私をはるかに超えるいい人になってもらいたかったからです。

選ばれる人材、求められる人材、与えられる人材に成長し、そして何よりも本人たちが幸せに人生を全うしてもらいたかったからです。

普通が何より安心という思考とは真逆の思考で向き合ってきました。

普通の子育てをしたら普通になっていくでしょう。

それを親子が望んでいるのなら、何も問題はなく、それもいいと思います。

しかし、私は3人の子どもたちのそれぞれの個性や輝きを最大限に輝かせてあげたいと考えていました。

生きているという実感を味わいながら、やりがいのある仕事を見つけて何よりも幸せになつてほしいと願いました。

そんな私の子育てや考え方を伝えることで、少しでも現役ママたちの肩の力が抜けて、毎日の子どもとの時間が楽しいと感じることが増えてくれたら幸いだと思っています。

子どもを育てているママたちに、何かヒントをプレゼントできたら嬉しいと思っています。子育ての期間はアツという間に過ぎていきます。

期間限定のスペシャルな大切な時間です。

一度限りの人生で、親という経験ができるのであれば、トライして実り多き時間にしていききたいものです。

さあ、素敵な黄金時代にしていきましょう。

私はみなさんに心からエールを送りたいです。

そんな気持ちで書いた、初めての本になります。

よろしくお付き合いください。